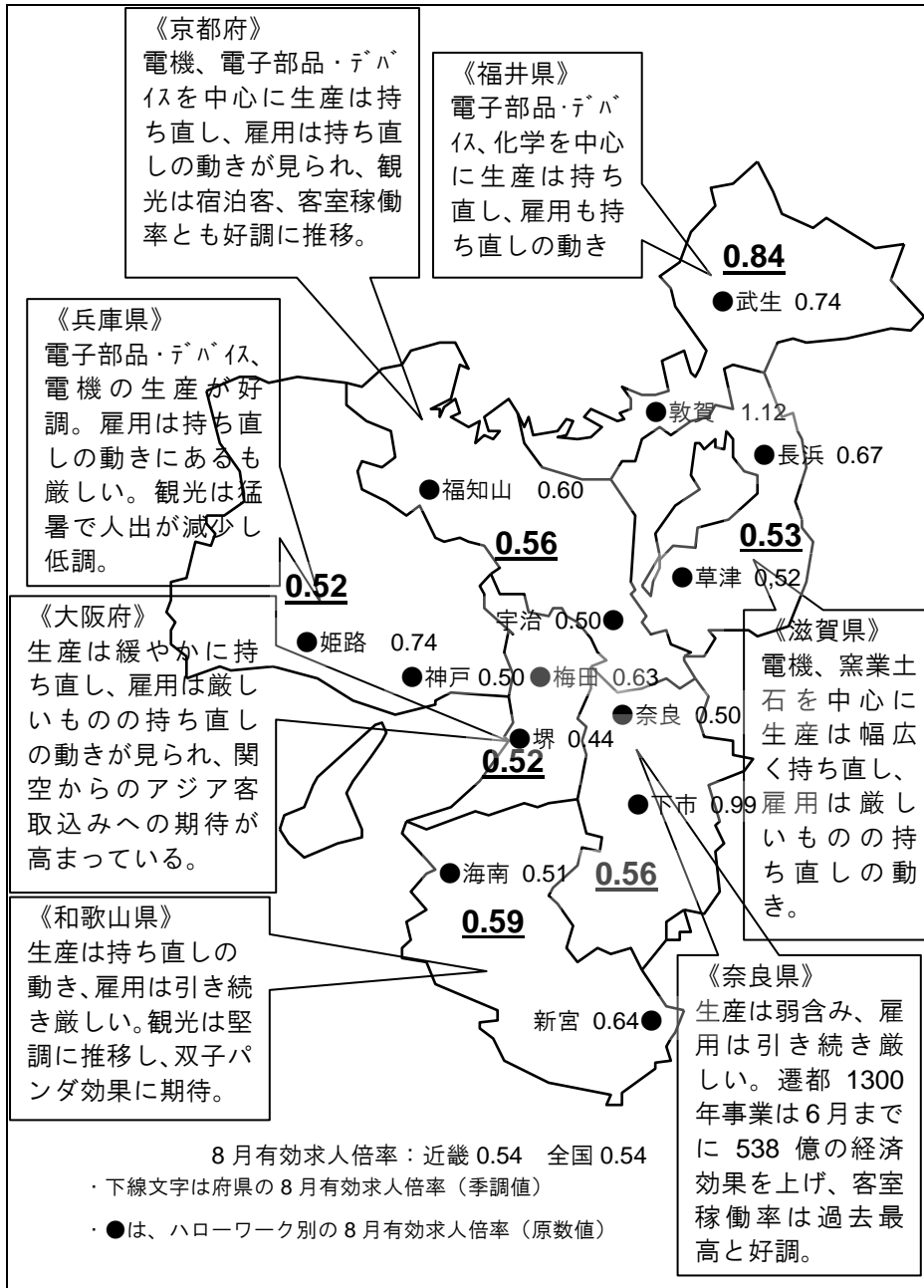


近畿経済産業局管内の経済動向

資料 1



近畿地域の経済は緩やかに持ち直している。今後の悪化に懸念。

1. 全体の動向

アジアの需要と政策効果により、輸出及び生産は、電子部品・デバイス、化学等を中心に広く持ち直し、個人消費及び設備投資は持ち直しの動き、雇用も厳しいながら持ち直しの動きがみられ、緩やかな持ち直しが続く。一方、政策効果の剥落や急激な円高など先行き悪化懸念の声が多く聞かれる。

2. 個別の動向

(1) 生産 ～持ち直し～

足下はアジアを中心とする外需と政策効果で、電子部品・デバイス、鉄鋼、化学等を中心に引き続き持ち直しているものの、政策効果の剥落、想定を超える急激な円高など先行き悪化を懸念する声が多い。

(2) 設備投資 ～持ち直しの動き～

コスト削減や新興国需要により企業収益が回復し、鉄鋼、化学、生産用機械器具等多くの業種で海外拠点の拡充が活発化している。管内では薄型テレビ、電池等を中心に持ち直しの動きがみられる。

(3) 雇用情勢 ～持ち直しの動きがみられるものの、依然厳しい状況～

求人数や残業時間は製造業を中心に持ち直しの動きがみられ、雇調金の届出件数も高水準ながら大・中小企業ともに減少。一部に人員不足の声もあるものの、23 年度の新卒採用は引き続き抑制傾向。失業率は依然高水準。

(4) 個人消費 ～持ち直しの動きにあるものの、先行き懸念～

雇用・所得環境が厳しい中、猛暑効果や政策効果により、引き続き持ち直しの動きがみられる。一方、エコカー補助金終了による自動車販売急減の兆しが見られるなど先行き懸念の声が強い。

3. 地域経済のトピックス

- 大企業では新興国の需要増等を背景に、海外売上比率を高めるとともに、アジア等を中心に海外事業展開を拡大。なお、中小企業では取引先との関係で必要と感じても人材、資金等で海外展開は困難とする企業も多い。
- 関空からの中国人観光客の伸び率は高く、旺盛な購買力を取り込む動きが活発化しているものの、足下の旅行キャンセルの動向が懸念される。